様式６

　　 需要者の当該貨物の調達実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 暦年 | 数　量（㎏） | 国　　別　　内　 訳 | 備　考 |
| 国　　　名 | 数　 量 |
| (申請年の3 年前の年)年 |  |  |  |  |
| (申請年の前々年)年 |  |  |  |  |
| (申請年の前年)年 |  |  |  |  |
| (申請年)年(1 月－　月) |  |  |  |  |

　　 需要者の最終製品の生産状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 暦年 | 生産量（㎏，ｔ） | 当該貨物の使用量 | 原単位 | 備　　考 |
| (申請年の3 年前の年)年 |  |  |  |  |
| (申請年の前々年)年 |  |  |  |  |
| (申請年の前年)年 |  |  |  |  |
| (申請年)年(1 月－　月) |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| ＜記載に際しての注意事項＞・申請年を除く過去3 年間（暦年）の実績に加え、申請年の1月から可能な範囲で直近までの調達実績・生産状況を記載してください。・日本からの調達実績があり、申請者以外からも調達を行っている場合には、申請者と申請者以外の数量をわけて記載してください。なお、審査に必要と判断された場合には、調達数量について、申請書の許可数量、実際に出荷した数量、需要者の在庫数量の関係についての詳細を求める場合がありますので、予めこれらの情報を入手しておくよう努めてください。・調達実績数に申請者が当該需要者向けに輸出した数量が含まれている場合は、申請年の備考欄には、調達実績数に紐付く申請者が過去取得した輸出許可番号を記載してください。許可された量と実際の輸出量に齟齬がある場合は、実際の輸出量と齟齬の理由も記載してください。なお、備考欄に書き切れない場合は、用紙の空いた部分や別紙に記載してください。・「生産量」、「当該貨物の使用量」が、前年度に比べ大きく増減した場合には、その理由について、詳細に聞き取り、備考欄に記載してください。なお、備考欄に書き切れない場合は、用紙の空いた部分や別紙に記載してください。・提出資料では、この注意事項の記載部分は削除して、追記用の場所として使用して結構です。 |